

■ 製品価格

「月額サブスクリプション」と「買い切り」から選択して購入が可能です。

- ・初期投資を抑えたい場合はサブスクリプション
- ・最終的なコストを抑えたい場合は買い切り

お客様の必要に応じ、購入方法をお選びいただけます。

◆ 月額サブスクリプションの場合

基本ライセンス

¥8,250(月額)

※照会画面を10件まで作成可

追加機能10

¥1,650 (月額)

※照会画面の作成可能数を10追加

◆ 買い切りの場合

基本ライセンス

¥550,000

※照会画面を10個まで作成可

追加機能10

¥110,000

※照会画面の作成可能数を10追加

◆ サポート価格

基本ライセンス サポート

¥2,750(月額)

追加機能10 サポート

¥1,100(月額)

- ・表示している価格は全て税込です。
- ・RapidDataInq WEBのご利用には、接続する検索対象データベースごとに基本ライセンスの購入が必要です。
- ・基本ライセンスの購入によって、照会画面を10件作成することが可能となります。
- ・追加機能10を購入することで、照会画面の作成可能数を10件追加できます。
- ・追加機能10は複数本の購入も可能です。例えば追加機能10を3本購入した場合は、(基本ライセンス) 10件 + (追加機能10を3本)x10件 = 計40件の照会画面を作成可能となります。
- ・RapidDataInq WEB自体のライセンス上は利用ユーザ数に制限はありませんが、利用する検索対象DBおよびWebサーバについて、必要に応じたライセンスを入手した上でご利用ください。

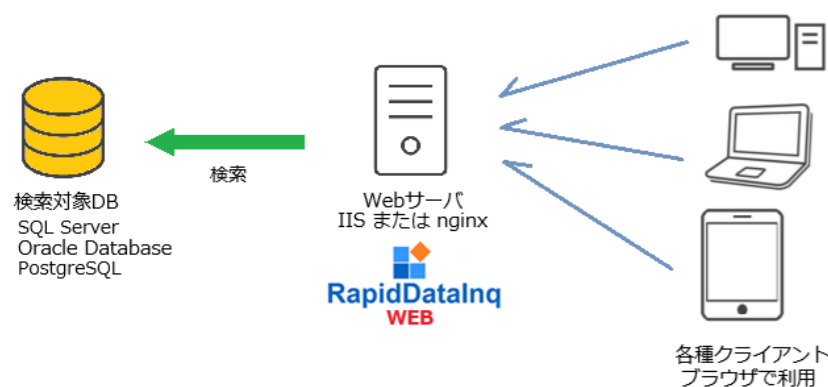
- ・サポート契約は必須です。
- ・追加機能10の購入本数に該当するサポート契約が必要です。

- ・環境設定、およびシステム導入、操作学習はお客様にて実施していただきます。
- ・環境設定、およびシステム導入、操作説明を弊社に依頼する事も可能です。その場合は別途お見積もりをいたします。

- ・帳票出力機能を利用するには、帳票ツール製品の「RapidReport」を別途購入する必要があります。

RapidReport Webサイト: <https://rapidreport.systembase.co.jp/>

■ 動作モデル



■ 動作環境

- サーバ:
- ・.NET8 が動作する環境
 - ・IIS または nginx
- クライアント(ブラウザ):
- ・Edge / Chrome / Firefox
- 検索対象データベース:
- ・Microsoft SQL Server
 - ・Oracle Database
 - ・PostgreSQL

- ※.NET/IIS/Edge/Microsoft SQL ServerはMicrosoft社の製品です。
- ※nginxはNginx Software Incの製品です。
- ※ChromeはGoogle LLCの製品です。
- ※FirefoxはMozilla社の製品です。
- ※Oracle DatabaseはOracle社の製品です。



【お問い合わせ先】
株式会社システムベース 開発1部 商品企画・開発グループ
E-Mail: kikaku_contact@systembase.co.jp

データの照会画面、集計機能をノーコードで自由に作成できます

社内の様々なデータベースに蓄積されたデータを活用できていますか？

RapidDataInq(ラピッドデータインク) WEBを使うと、データ照会画面、集計機能をお客様ご自身で自由に作成できます。検索条件としたい項目や、出力結果に含めるべき項目の配置などのカスタマイズもお客様ご自身で簡単に行えます。

専門的な開発技術は必要はなく、「誰でも」「すぐに」データ活用を行える環境が手に入ります。

■ テーブルを選択するだけで照会画面を作成

RapidDataInq WEBのクエリビルダを用いると、データベースに含まれるテーブルの一覧から検索対象としたいテーブルを選択するだけで照会画面を作成することができます。

テーブルの結合や、計算式によるカスタム列も指定可能です。

変更：受注照会 - クエリビルダ

【テーブル一覧】

テーブル	選択
列幅マスタ (SYS_COL_WIDTH)	選択
システムログ (SYS_LOG)	選択
分割事由区分マスタ (TC_ARINASI)	選択
分割パターンマスタ (TC_BUNKATSU_PATTERN)	選択
分割	選択
検索対象のデータベースに含まれる	選択
テーブルの一覧が表示されます。	選択
エラー区分 (TC_ERROR_KBN)	選択
不良区分マスタ (TC_FURYO_KBN)	選択
発行区分マスタ (TC_HAKKO)	選択
端数処理区分マスタ (TC_HASUU)	選択
発注区分マスタ (TC_HATTYU)	選択
保管場所マスタ (TC_HOKANBASHO)	選択
稼働日区分マスタ (TC_KADOBI)	選択
形状マスタ (TC_KEIJO)	選択

【選択テーブル】

テーブル	別名	結合条件
受注データ (TD_JYUTYU)		
受注明細データ (TD_JYUTYU_M)	T1	ID=T1.JYUTYU_ID

選択したテーブルに含まれるデータを検索する画面を生成できます。

【カスタム列】 新規追加

No	編集	列名
1		

計算式によって定義されたカスタム列も追加できます。
例：実績 ÷ 予定 = 達成率 など

■ 使いやすい照会画面

RapidDataInq WEBで作成できる照会画面は、シンプルな操作性で使いこなすために特別な学習などは必要ありません。

検索結果はブラウザ上で表示するだけでなく、Excelファイルに出力することもできます。

データ照会 - 受注照会

受注番号

受注日 2022年01月 ~ 2022年12月

製品名 (部分一致)

検索条件入力

一覧 得意先・年度・月ごと

表示順 受注番号 △

検索 クリア EXCEL出力

受注番号	受注日	得意先名	製品名	受注数	単価	金額
10001	2022/12/07	株式会社取引先名0003	テスト	10.00	1000.00	10,000
10001	2022/12/07	株式会社取引先名0003	リビングテー...	20.00	500.00	10,000
10001	2022/12/07	株式会社取引先名0003	ログベット	15.00	1500.00	22,500
10011	2022/08/30	株式会社取引先名0001	テスト	10.00	1000.00	10,000
10011	2022/08/30	株式会社取引先名0001	リビングチェア	20.00	500.00	10,000

実行

■ 照会画面をカスタマイズ

作成した照会画面は自由にカスタマイズできます。条件項目の選択と形式（範囲選択やあいまい指定など）や、出力項目の選択と配置を設定できます。

設定した内容はユーザごとに保存されるので、各自の必要に応じた柔軟な運用が可能です。

検索条件の設定 受注照会

表示項目

No	見出し	段替え	設定	削除
1	受注番号	<input type="checkbox"/>	設定	削除
2	受注日	<input type="checkbox"/>	設定	削除
3	製品名	<input type="checkbox"/>	設定	削除

検索条件とする項目を選択

各項目の設定
・範囲選択
・あいまい検索
・初期値 など

設定

データ照会 - 受注照会

受注番号

受注日 2022年01月 ~ 2022年12月

製品名 (部分一致)

一覧 得意先・年度・月ごと

表示順 受注番号 △

検索 クリア EXC

受注番号	受注日	得意先名	製品名	受注数	単価	金額
10001	2022/12/07	株式会社取引先名0003	テスト	10.00	1000.00	10,000

■ 集計機能

検索結果のデータに対し、集計単位とする項目を自由に設定して集計を行うことができます。

集計設定 受注照会

見出し 得意先・年度・月ごと

【項目一覧】

No	削除	見出し	列名	集計単位
1	削除	得意先名	TOKUISAKI_NM	年度/月
2	削除	受注日	JYUTYUBI	年度/月

行(縦)方向の集計単位項目を設定

列(横)方向の集計単位項目を設定

集計対象の項目と計算式(合計/平均/最大値など)を設定

集計

集計値	金額	検索	クリア	EXCEL出力
得意先名	受注日(年度)	4月	5月	6月
株式会社取引先名0001	2019年度	6,927,500	6,120,000	5,822,500
株式会社取引先名0001	2020年度	5,695,000	5,822,500	6,290,000
株式会社取引先名0001	2021年度	5,822,500	5,397,500	5,907,500
株式会社取引先名0001	2022年度	5,312,500	5,397,500	5,015,000
株式会社取引先名0002	2019年度	5,695,000	5,695,000	6,545,000
株式会社取引先名0002	2020年度	5,567,500	5,865,000	6,120,000
株式会社取引先名0002	2021年度	5,440,000	6,290,000	6,035,000
株式会社取引先名0002	2022年度	4,802,500	5,482,500	5,992,500

■ 活用例

ケース1：既存機能では融通の利かない状況に対応

いつも販売管理システムから得意先リストを出力しているが、既存機能では全ての列を取得するしかなく、出力形式や見出しなども制御できない。

RapidDataInq WEBならば・・・

状況に応じて必要な列だけを、適切な形式で取得することが可能です。ブラウザ上での検索だけでなく、Excelファイルへの出力項目も設定できます。

ケース2：随時発生するニーズに対応

実績データに含まれている予備項目の値を条件として集計を行いたいが、予備項目を条件や集計単位として検索する機能はシステムには用意されていない。

RapidDataInq WEBならば・・・

任意の項目を条件や検索単位とすることができます。「今だけ必要な照会機能」といったものも気軽に作成できます。

ケース3：システム開発のコスト削減

システムの開発コストをできるだけ抑えたい。

RapidDataInq WEBならば・・・

データ照会機能をノーコードで作成することができます。複雑な機能のみをプログラム開発で作成することによってコスト削減を実現できます。